

2023年3月期 通期決算補足資料

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2023年5月11日



1 全社のれん償却前営業利益は約57億円、2年連続で最高益を更新

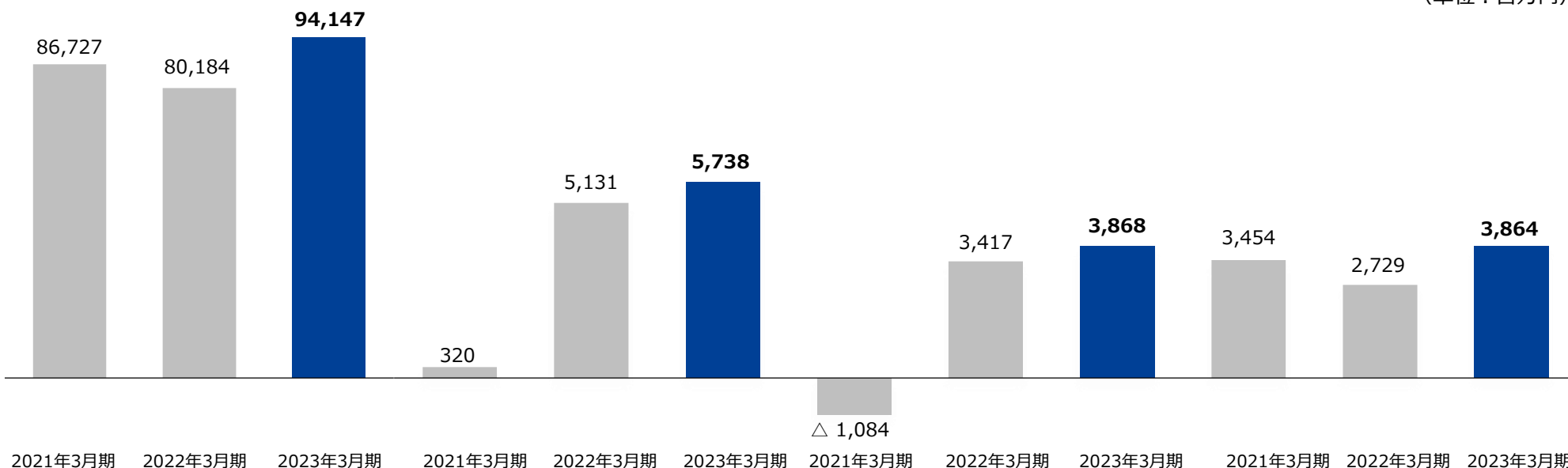
2 映像制作サービス(海外)が引き続きけん引し、9億円増益

3 当期純利益は補償金等を特別損益に計上したことで11億円増益

- 2桁の増収増益を達成し、売上・営業利益・当期純利益は上場来最高値

売上高	のれん償却前 営業利益	営業利益/損失	親会社株主に帰属 する当期純利益
94,147	5,738	3,868	3,864
前年増減額 +13,963 (+17.4%)	前年増減額 +607 (+11.8%)	前年増減額 +451 (+13.2%)	前年増減額 +1,134 (+41.6%)

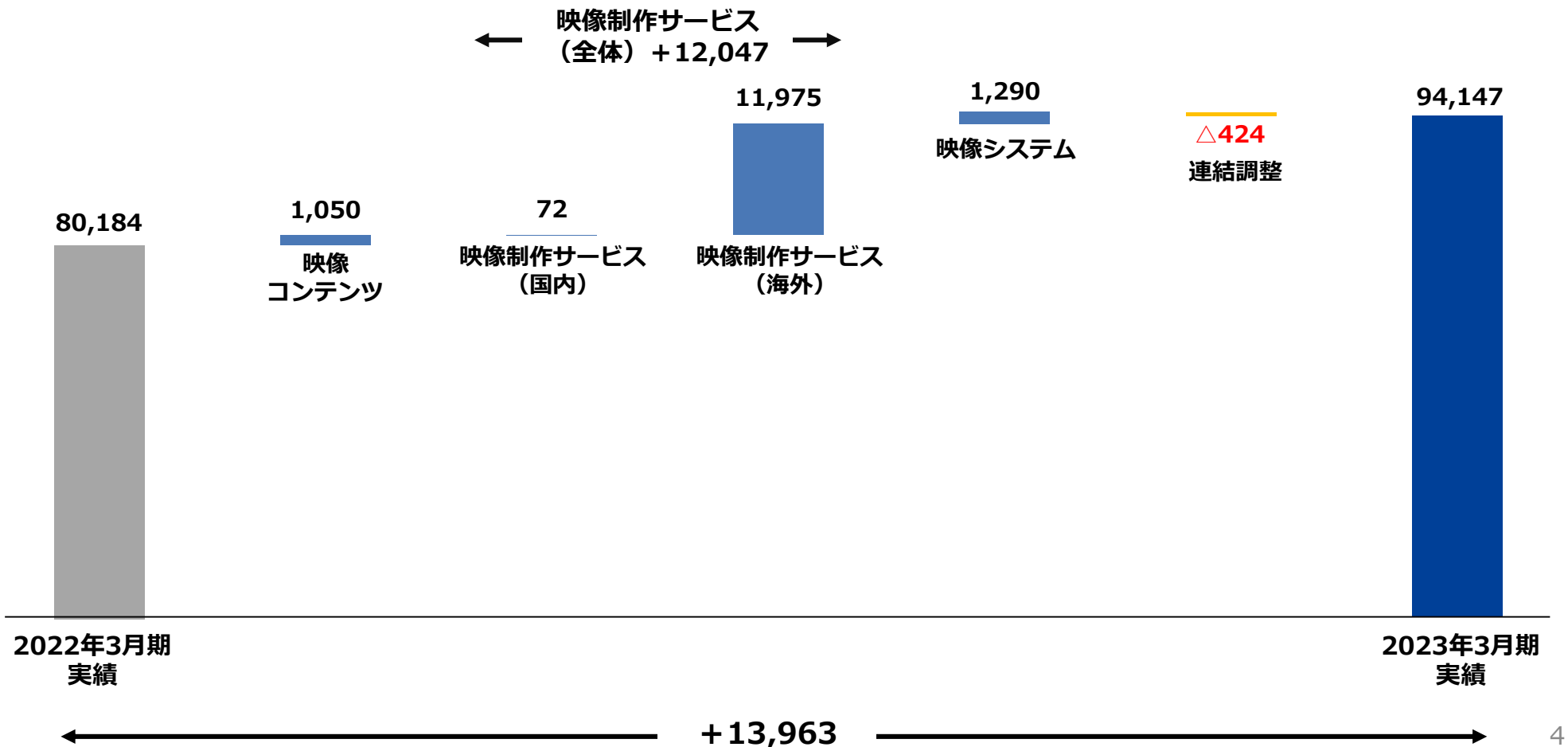
(単位：百万円)



売上高増減分析（前年比）

- 全セグメントで増収、映像制作サービス（海外）は120億円の増収

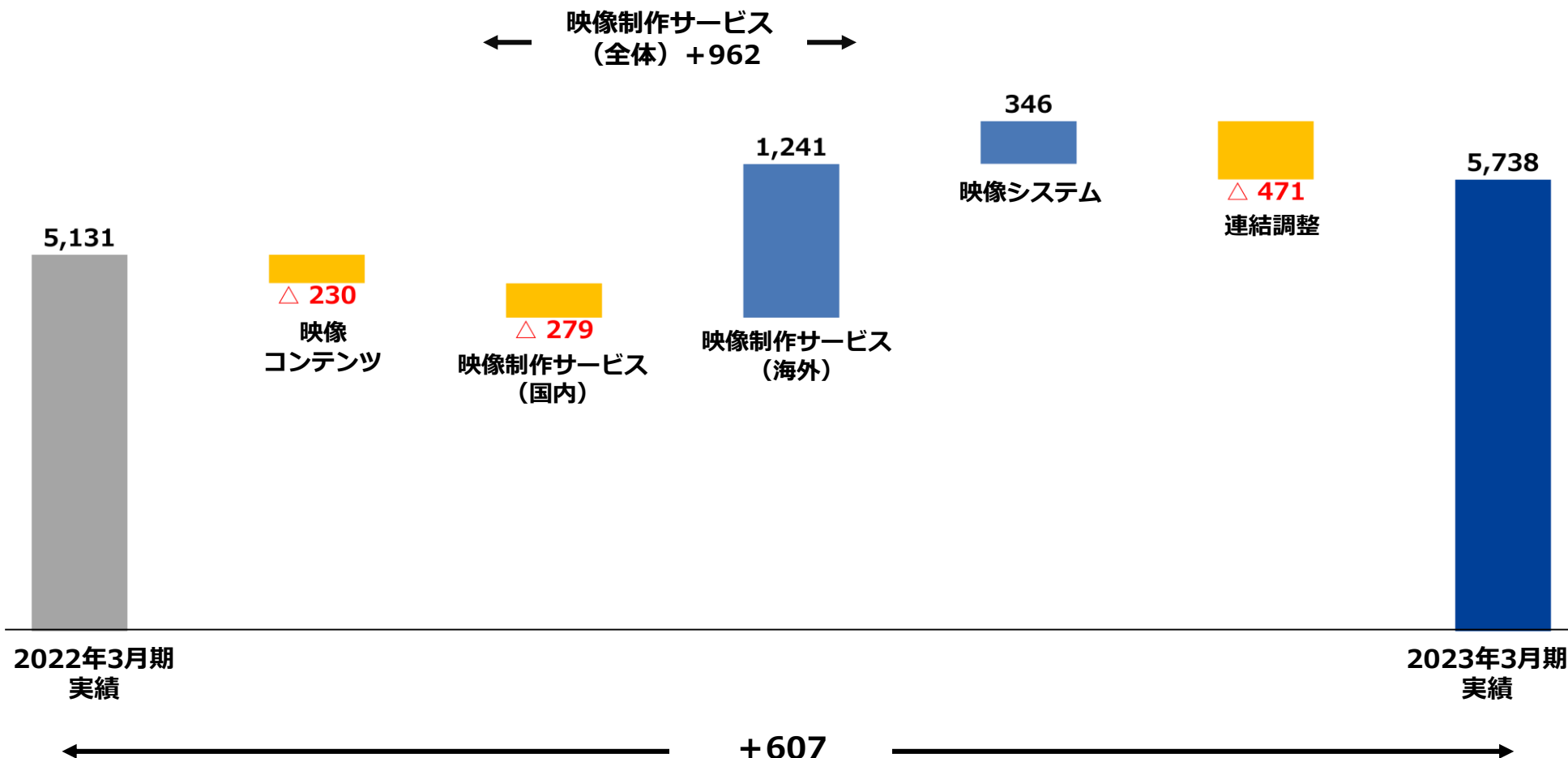
（単位：百万円）



のれん償却前営業利益の増減分析（前年比）

- 映像制作サービス9.6億、映像システム3.4億、連結で6億円の増益

（単位：百万円）

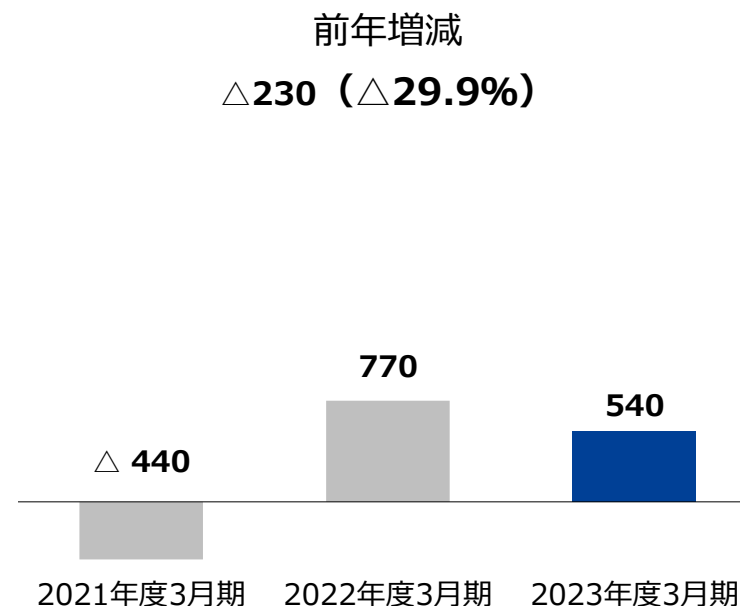
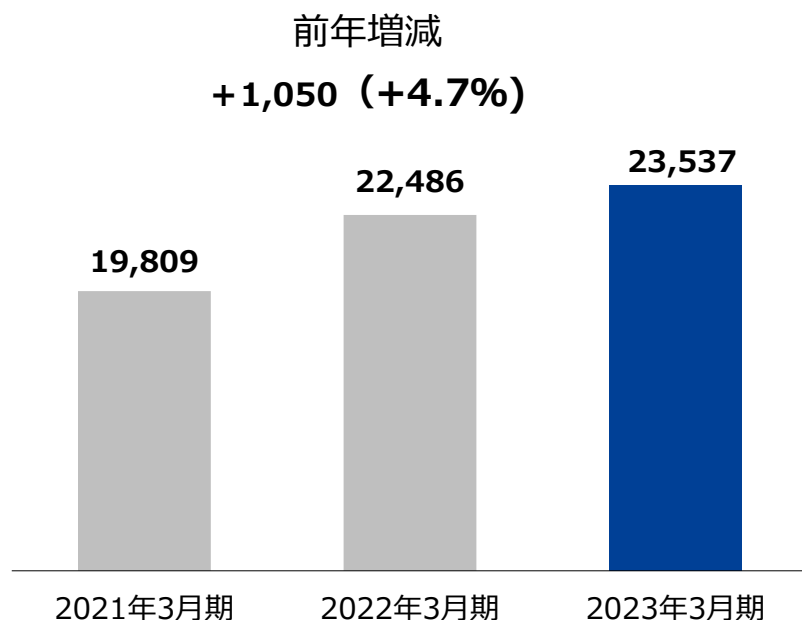


- 映画/ドラマ/動画配信向け好調により増収も、前年特需の影響やCMの下半期低調により減益

売上高

のれん償却前営業利益

(単位：百万円)

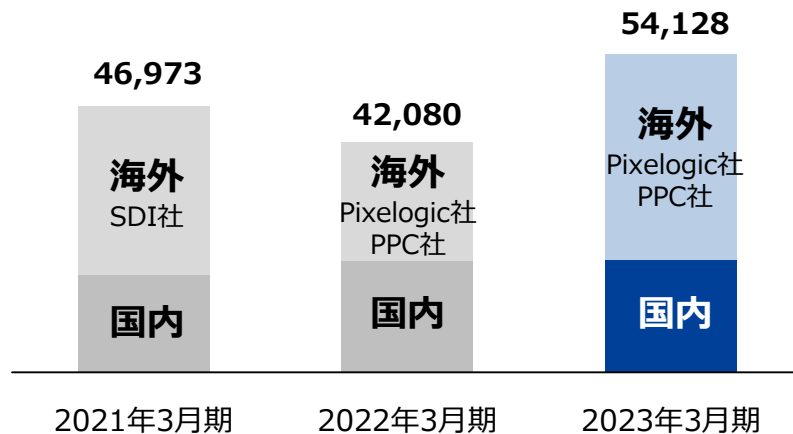


- ✓ 劇場映画やTVアニメに加え、動画配信事業者向けドラマの納品もあり売上は堅調
- ✓ アニメーション作品において引き続き収益管理の徹底により粗利益率が改善
- ✓ CM制作については、下期以降、受注の低調により減益
- ✓ ライブエンタテインメント事業では売上堅調も、前年特需の影響により減益

・ グローバルE2Eサービス*1の好調継続により増収増益

売上高

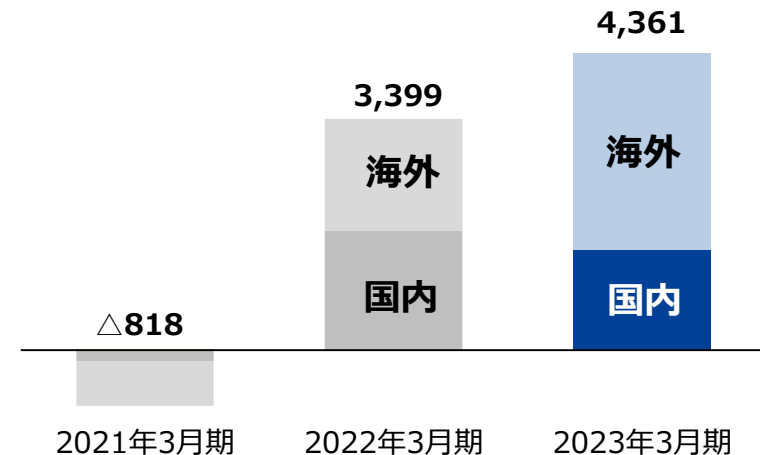
前年増減
+12,047 (+28.6%)



のれん償却前営業利益

前年増減
+962 (+28.3%)

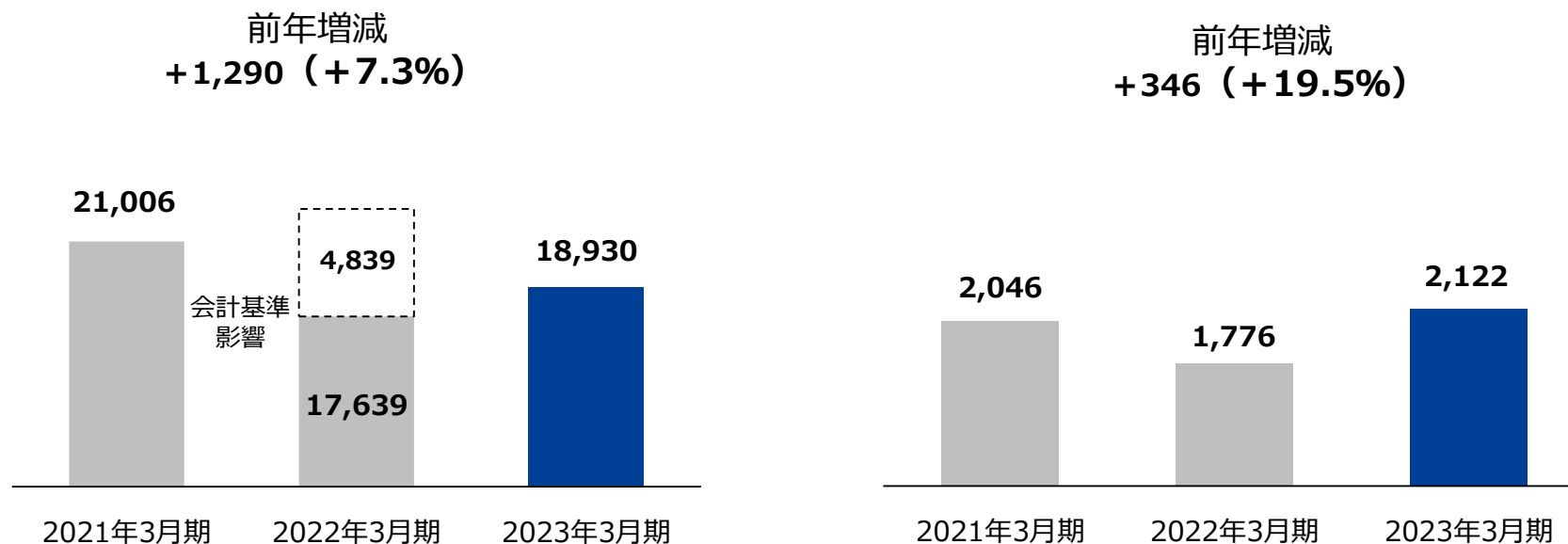
(単位：百万円)
数値は国内・海外の合算



- ✓ 海外のE2Eサービスにおいては、引き続き動画配信事業者*2向けのローカライズの需要が好調に推移したことで、売上・利益ともに大幅に伸長
- ✓ 国内のE2Eサービスにおいてはデジタルシネマサービスやアニメーション作品のポストプロサービス堅調も、拠点移転に伴う固定費増により減益

・ ハイスピードカメラの製品出荷が下期から回復したことなどで、増収増益

売上高 のれん償却前営業利益 (単位：百万円)



- ✓ ハイスピードカメラは半導体不足の影響緩和により下期から出荷が回復
- ✓ 映像・画像処理LSI売上は国内および海外における販売が好調
- ✓ 光学計測事業は、設備投資回復に伴い売上が増加
- ✓ 放送局向けシステムは案件の受注不足により苦戦

2024年3月期 通期業績予想

売上高1,000億、3期連続の増益を目指す

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期		
	実績	業績予想	前年 増減額	前年 増減率
売上高	94,147	100,000	5,853	6.2%
のれん償却前営業利益 (利益率)	5,738 6.1%	5,900 5.9%	161	2.8%
営業利益 (利益率)	3,868 4.1%	4,000 4.0%	132	3.3%
経常利益	3,638	3,500	△139	△3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,864	2,200	△1,664	△43.0%
1株当たり当期純利益 (円)	86.79	49.34	△37.45	△43.1%
1株当たり配当金 (円)	15.0	15.0	0	0.0%

配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本としたうえで、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

なお、特別な損益等の特殊要因が当期純利益に大きく影響を与える場合は、配当の決定にあたり、基本的に特殊要因を考慮した配当性向を踏まえ、株主様への安定的な配当と今後の事業展開や内部留保の状況などを総合的に勘案し決定いたしております。

上記方針に基づき、2024年3月期の配当予想は15円とさせていただきます。

	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり 親会社に帰属する 当期純利益	配当予想	配当性向
2023年3月期予想	2,200百万円	49.34円	15.0円	30.4%

Appendix.

連結損益計算書

(単位：百万円)	2022年3月期	2023年3月期		
	実績	実績	前年増減額	前年増減比
売上高	80,184	94,147	13,963	17.4%
売上総利益	23,386	26,723	3,336	14.3%
(売上総利益率)	29.2%	28.4%		
営業利益	3,417	3,868	451	13.2%
(営業利益率)	4.3%	4.1%		
経常利益	3,934	3,638	△ 295	△7.5%
(経常利益率)	4.9%	3.9%		
特別利益	1,301	5,327	4,026	309.4%
特別損失	2,037	1,445	△ 591	△29.0%
税金等調整前当期純利益	3,198	7,519	4,321	135.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,729	3,864	1,134	41.6%
(参考)のれん等償却前営業利益	5,131	5,738	606	11.8%

※のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

(単位：百万円)		2022年3月期末	2023年3月期末	前期比	主な増減要因
資産の部	流動資産	41,066	44,970	3,904	売掛金 +3,124百万円 棚卸資産 △1,153百万円
	うち現預金	6,420	7,813	1,393	
	固定資産	32,317	36,917	4,599	リース資産 +4,694百万円 (米国リース会計基準の適用による増加)
	うちのれん	11,482	11,780	297	
	資産合計	73,384	81,888	8,503	
負債・純資産の部	流動負債	32,278	33,205	926	支払手形及び買掛金 △1,751百万円 契約負債 △782百万円
	うち短期借入金	4,170	6,432	2,262	
	固定負債	7,079	8,378	1,298	リース債務 +4,204百万円 (米国リース会計基準の適用による増加)
	うち長期借入金	4,019	1,366	△ 2,653	
	負債合計	39,358	41,584	2,225	
	株主資本	29,963	33,150	3,186	
	その他包括利益累計額	1,185	2,956	1,770	為替換算調整勘定 +1,641百万円
	非支配株主持分	2,876	4,197	1,321	
	純資産合計	34,025	40,303	6,278	
	負債純資産合計	73,384	81,888	8,503	
ネット資金		△ 1,769	14	1,784	(現預金－長短期借入金)

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2022年3月期	2023年3月期
税金等調整前当期純利益	3,198	7,519
減価償却費	2,059	2,596
のれん償却額	1,406	1,558
投資有価証券売却損益	△ 414	△ 1,576
売上債権及び契約資産の増減額	△ 1,992	△ 2,179
棚卸資産の増減額	△ 6,770	1,172
仕入債務の増減額	2,431	△ 2,007
契約負債の増減額	5,393	△ 876
法人税等の支払額	△ 389	△ 2,189
その他	2,493	2,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,414	6,109
有形固定資産の取得による支出	△ 3,996	△ 2,853
無形固定資産の取得による支出	△ 612	△ 655
投資有価証券の売却による収入	944	1,642
その他	△ 264	△ 514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,928	△ 2,380
短期借入金の純増減額	△ 2,023	280
長期借入金の返済による支出	△ 1,974	△ 1,334
配当金の支払額	—	△ 665
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 43	△ 442
その他	△ 142	△ 423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,183	△ 2,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	211	250
現金及び現金同等物の増減額	△ 486	1,393
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	48	—
現金及び現金同等物の期末残高	6,419	7,812

セグメント別総括

(単位：百万円)		2022年3月期	2023年3月期		
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	22,486	23,537	1,050	4.7%
	営業利益	765	535	△ 230	△30.1%
	(営業利益率)	3.4%	2.3%		
	のれん等償却前営業利益	770	540	△ 230	△29.9%
映像制作サービス事業	売上高	42,080	54,128	12,047	28.6%
	営業利益	1,726	2,532	806	46.7%
	(営業利益率)	4.1%	4.7%		
	のれん等償却前営業利益	3,399	4,361	962	28.3%
映像システム事業	売上高	17,639	18,930	1,290	7.3%
	営業利益	1,740	2,086	346	19.9%
	(営業利益率)	9.9%	11.0%		
	のれん等償却前営業利益	1,776	2,122	346	19.5%
その他	売上高	△ 2,023	△ 2,448	△ 424	—
	営業損失	△ 814	△ 1,286	△ 471	—
連結合計	売上高	80,184	94,147	13,963	17.4%
	営業利益	3,417	3,868	451	13.2%
	のれん等償却前営業利益	5,131	5,738	606	11.8%

2023年1月～3月 主なグループTOPICS

イマジカインフォス発行『薬屋のひとりごと』の
TVアニメ化が決定

港区教育委員会・東京大学先端科学技術研究センター主催
「学びの達人プロジェクト」に協力いたしました



©日向夏著、しのとうこ絵、イマジカインフォス発行
©日向夏・イマジカインフォス／「薬屋のひとりごと」製作委員会

当社のグループ会社である株式会社イマジカインフォス
(旧：株式会社主婦の友インフォス、本社：東京都千代田区
代表取締役社長：前田起也)が発行するヒーロー文庫『薬屋の
ひとりごと』が2023年にTVアニメ化されることが決定しまし
た。

[詳細はこちら](#)



港区教育委員会



東大先端研
Research Center for
Advanced Science and Technology
The University of Tokyo



P.I.C.S.

2023年1月6日に開催された、港区教育委員会と東京大学先端
科学技術研究センター主催の「学びの達人プロジェクト」に当
社グループが協力し、子供体験教室を実施しました。

当社グループ会社ピクス所属の、くろやなぎてっぺい(P.I.C.S.
management)さんが「ひらめきの科学」というテーマをもと
に、ゲスト講師として子どもたちとワークショップを行いました。

[活動報告はこちら](#)

***1.グローバルE2Eサービス**

End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション (流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称を指します。

***2.動画配信事業者**

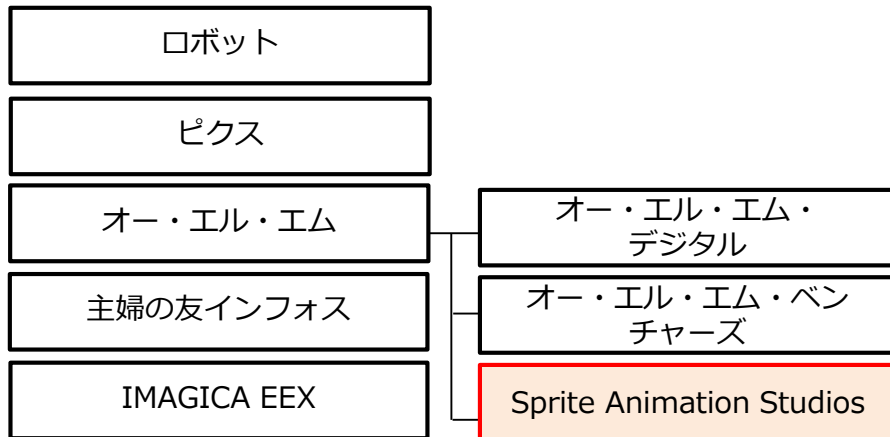
インターネットを介したプラットフォームにて動画配信を行う事業者を指します。

事業セグメント別 連結子会社一覧（2023年3月期）



映像コンテンツ事業

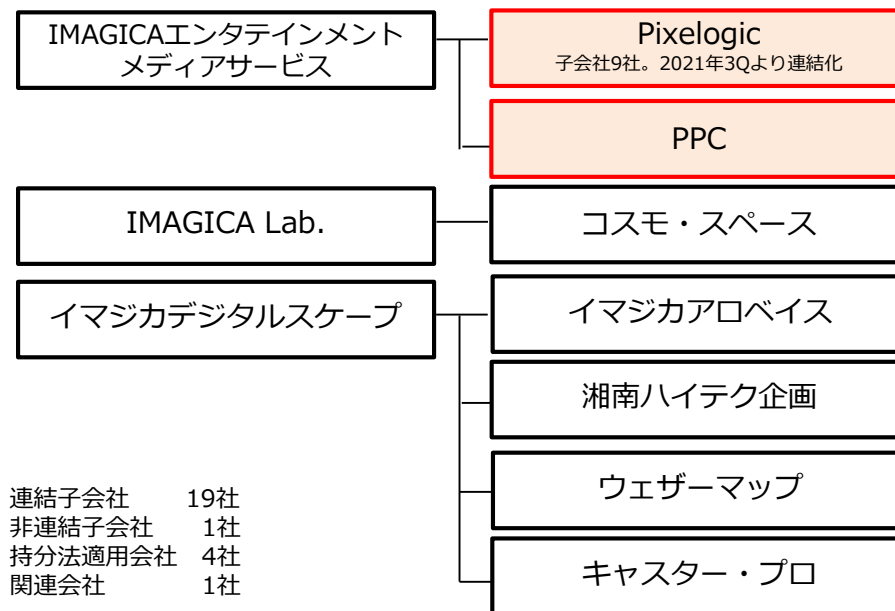
映画、アニメ、CM、TVドラマ、プロジェクションマッピング等のエンタテインメント映像の企画・制作



連結子会社 9社
非連結子会社 2社

映像制作サービス事業

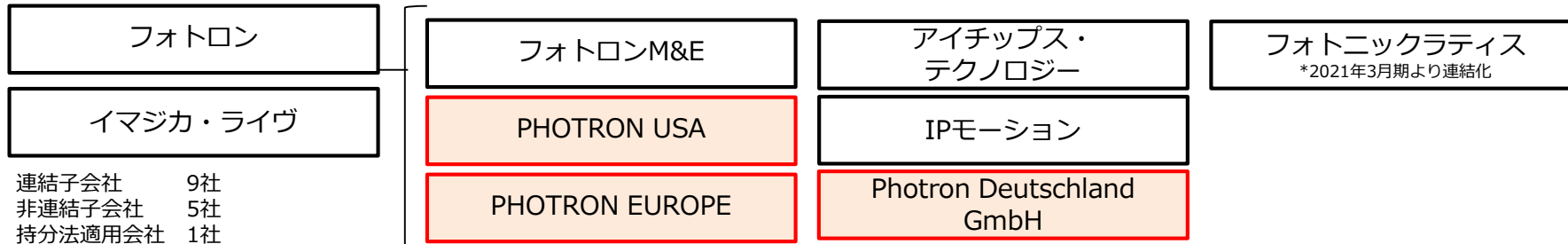
映像・音声編集、CG制作等の映像加工、字幕・吹替、配信・流通サービス、撮影、中継、ゲーム3DCG制作、人材サービス



連結子会社 19社
非連結子会社 1社
持分法適用会社 4社
関連会社 1社

映像システム事業

放送局向け映像機器の設計～導入、ネットワーク回線を活用した映像伝送、映像編集クラウドシステム構築など映像システムソリューション全般。独自技術のハイスピードビデオカメラの開発製造事業CAD、画像関連LSI事業



連結子会社 9社
非連結子会社 5社
持分法適用会社 1社

お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒105-0022 東京都 港区 海岸 1-14-2

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。